

製品名: α -チューブリン (アセチル Lys40) (5H5) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM06271

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	52kDa

抗原情報

遺伝子名	TUBA1B
別名	Tubulin alpha-1B chain (Alpha-tubulin ubiquitous;Tubulin K-alpha-1;Tubulin alpha-ubiquitous chain)
遺伝子 ID	7277.0
SwissProt ID	P68363
免疫原	α -チューブリンの合成ペプチド (アセチル Lys40)

背景

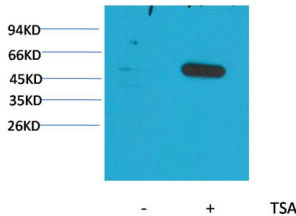
機能: チューブリンは微小管の主成分です。2 モルの GTP を結合します。1 つは β 鎖の交換可能部位、もう 1 つは α 鎖の非交換性部

位です。、PTM: チューブリンチロシンカルボキシペプチダーゼ (TTCP) とチューブリンチロシンリガーゼ (TTL) という酵素によって、C末端チロシン残基が周期的に除去され、再び付加されるチロシン化/脱チロシン化サイクルを受けます。、類似性: チューブリンファミリーに属します。、サブユニット: α 鎖と β 鎖の二量体。、機能: チューブリンは微小管の主成分です。これは2モルのGTPに結合します。1つはベータ鎖の交換可能な部位に、もう1つはアルファ鎖の交換不可能な部位にあります。、PTM: チューブリンチロシンカルボキシペプチダーゼ (TTCP) とチューブリンチロシンリガーゼ (TTL) という酵素によって、C末端チロシン残基が周期的に除去され、再び付加されるチロシン化/脱チロシン化サイクルが行われます。、類似性: チューブリンファミリーに属します。、サブユニット: アルファ鎖とベータ鎖の二量体。、

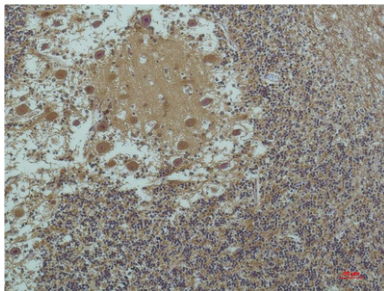
研究分野

ギャップジャンクション;病原性大腸菌感染症;

画像データ



アセチル- α -チューブリン (Lys40) マウス mAb 1:2000 を使用した、未処理 (-) または TSA 処理 (1 μ M、18 時間; +) の HeLa 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。



1:200 に希釈した α -チューブリン (アセチル Lys40) マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。